

第3章 研修会及び被災地支援事業の充実



研修会及び被災地支援事業について

【研修会】

- 女性教員のための「初歩から学ぶ」
体育実技・授業づくりセミナー



【被災地支援事業】

- 地域の体力向上サポーター活用
御船町立高木小学校
益城町立広安小学校
- ロアツソ熊本サッカー教室
阿蘇市立一の宮小学校
阿蘇市立阿蘇西小学校



研修会の充実

女性教員のための「初歩から学ぶ」 体育実技・授業づくりセミナー

目的

熊本県小学校教員の約6割は女性です。そして、その中には実技指導や学習の進め方など、体育の授業に関する悩みを抱えています。しかし、体育指導力向上等の研修会への参加については、女性教員の参加が増えない現状があります。

そこで「初歩から学ぶ」というテーマで、女性教員を対象にした研修会を開催しました。小学校教員の多数を占める女性教員の指導力向上を図ることで、子供達の体力向上を目指しています。

開催期日 会場・領域 講師

<前期>平成29年 8月 4日(金) 会場：菊池市総合体育館
領域：「体づくり運動」 参加者44人

<後期>平成29年12月11日(月) 会場：県立総合体育館
領域：「ゲーム・ボール運動」 参加者30人

<講師>白旗 和也 氏 日本体育大学教授(元文部科学省教科調査官)

実技の様子

「体づくり運動」

平均台やボール、フープ等を使って、多様な動きを高める運動の行い方、指導方法、場づくりの仕方などについて教えていただきました。

様々な動きの中には、難しいものもありましたが、参加者のみなさんは、その動きが成功しても失敗しても笑顔が絶えない活動を進めることができました。

各グループで動き方を考える演習では、アイデアあふれる楽しい動き方を考え、紹介されました。



「ゲーム・ボール運動」



ソフトバレーボールを中心に、みんながボールを触り、楽しくゲームができるような授業展開の工夫の仕方などについて、実際に体を動かしながら学びました。

ゲーム・ボール運動が盛り上がるようなルールの工夫や声かけの仕方でも、お互いに喜び合い、励まし合いながら、楽しむ姿が多く見られました。

グループ協議の様子

「体づくり運動」「ボール運動～ネット型ゲーム～」ともに、1時間の授業の流れについてグループで協議しました。

その時間に身に付けさせたい力を明確にし、めあてに沿った学習展開の工夫の仕方等について、多くの意見を出し合い、充実した学び合いになりました。

グループで作り上げた1時間の授業展開案について発表も行い、情報を交換し合いました。

また、普段の体育の授業をする際の悩みや疑問等についても共有し、お互いに自分の学校での取組等を紹介しながら、課題解決へ向けて話が盛り上がったグループも多くありました。



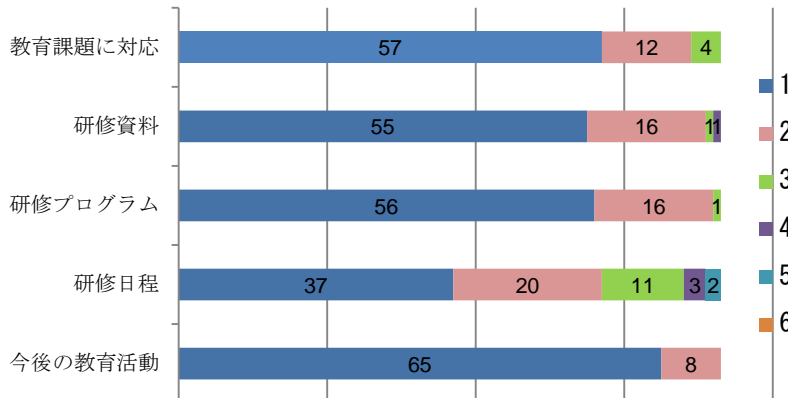
成果

【研修後のアンケート集計結果（前・後期合計74人分）】

1…高く評価できる



6…全く評価できない



多くの項目で高い評価を得ることができ、充実感あふれる研修になったようです。

比較的評価の低かった研修日程については、平成30年度に向けて改善を図り、先生方のニーズに応じた研修会を開催します。ぜひ多くの先生方の参加をお待ちしています。

参加された先生方の声

- 自分で実際にやってみて、楽しさを味わうことができました。指導上のポイントや子供への声かけの仕方、運動量の確保の方法など知ることができて、とてもよかったです。
- 初めて体育の指導案作りを行いました。単元を通してどこでどのような力をつけさせたいのか、そのためにどんな活動をしていくのかを考えることができて、とても勉強になりました。
- これまでの授業に対する悩みを出し合うことができ、共有することで、自信のなかったことが少し安心へと変わりました。
- △ いろんな悩みについて解決する協議の時間がもっと欲しかったです。

被災地支援事業

御船町立高木小学校：9月～10月

益城町立広安小学校：9月～1月

地域の体力向上サポーター活用

【体育の授業の充実に向けて】

御船町立高木小学校では、地域の体育指導員である鋤崎澄夫さんに協力をいただき、各学年の体育授業の際に、体力向上サポーターとして担任の支援を行うことで、授業の充実を図られました。

「体づくり運動」の授業を中心に、アイデアあふれる教材教具の活用、技能ポイントや動きのコツを指導される姿に、先生方が学ぶとともに、子供達も目を輝かせ、意欲的に活動に取り組み、充実した体育の学習を進めていました。



子供達が運動を楽しめる
手作りの教材教具が満載

いろいろな運動の動き方や用具の使い方、遊び方などについて、きちんとその方法（道筋）を教えていけば、子供達はしっかりと吸収してくれます。

この取組をきっかけに運動遊びとして日常化にもつながってくればと思いますね。



体力向上サポーター
鋤崎澄夫さん

【昼休みの運動遊びの日常化に向けて】



くまがく応援隊スマイリアのみなさん

子供達が体を動かすことで、心も体もリフレッシュしている様子が伝わりました。活動するたびに、子供達の動きや言葉かけの仕方など、とても成長を感じました。活動が終わって「楽しかった」と感想を言ってくれて、私達も元気をもらいました。（くまがく応援隊スマイリア代表：佐藤里沙さん談）



益城町立広安小学校では、熊本学園大学社会福祉学部の学生を中心とした「くまがく応援隊スマイリア」の方々に協力をいただき、昼休みの運動遊びの指導・支援を通して運動遊びの日常化を目指した活動が進められました。

小グループで協力して体を動かす運動遊びや、フープを使って行う競争など、子供達は夢中になって活動し、笑顔あふれる楽しい運動遊びに時間を忘れて取り組んでいました。

広安小学校の子どもたちの声

- 汗がいっぱい出てつかれたけど、とても楽しかった。
- たくさん走ることが多くて、おもしろかった。お兄さん、お姉さん達がいっぱい遊んでくれてうれしかった。



ロアッソ熊本サッカー教室

<第1回> 平成29年10月17日(火) 阿蘇市立一の宮小学校
<第2回> 平成29年11月28日(火) 阿蘇市立阿蘇西小学校

熊本のプロサッカーチーム「ロアッソ熊本」の協力を得て、阿蘇市立一の宮小学校では6年生を対象に、阿蘇市立阿蘇西小学校では4・5年生を対象にサッカー教室を開催しました。

講師には、ロアッソ熊本スクールコーチ代表で元サッカー日本代表の藤本主税氏を中心に、ロアッソ熊本コーチの方々5～6名をお迎えして活動を行いました。

ウォーミングアップでは、「手つなぎだるまさんが転んだ」や「しっぽ取りゲーム」などで体をほぐし、サッカーボールを使った運動では、手や足でボールを扱いながら前後のダッシュ動作や、ドリブル・パス・シュートの動作を小グループで交代しながら取り組むなど、運動量を十分確保した楽しい活動になりました。

最後は、ロアッソ熊本のコーチの方々と交えて「3チーム同時ゲーム」を行いました。ボールも5～6個使って同時にゲームを進めたので、次から次へとドリブルやシュートをしたり、ディフェンスに対応したりしながら、夢中になってボールを追いかける姿が見られました。ぜひ今回の取組の内容を、他の学年や近隣の学校の活動などへと広げていただきたいと思います。

サッカー教室として行いましたが、普段の体育の授業の体づくり運動やボール運動等でもいろいろな場面で活用することができ、子供達も進んで昼休みの運動遊びなどでも十分取り入れていける内容でした。

サッカー教室が終了した後、ロアッソ熊本のコーチの方々は「子供達が、こんなに一生懸命にボールを追いかけてくれてうれしい」「夢中になってサッカーをしている子供達を見ると、こっちが元気をもらおう」と話をされていました。



一の宮小学校のみなさんと



阿蘇西小学校のみなさんと